



ENY ニュース

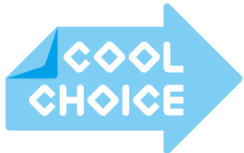
「エコペン」は、山形県地球温暖化防止活動推進センターのマスコットキャラクターです。

TEL : 023-679-3340 FAX : 023-679-3389

E-mail : eny@chive.ocn.ne.jp WEB : https://eny.jp/

特定非営利活動法人 環境ネットやまがた

〒990-2421 山形県山形市上桜田 3-2-37



未来のために、
いま選ぼう。



「総会の日に想う」

特定非営利活動法人 環境ネットやまがた 代表 河合直樹



本日5月28日、山形エコハウスにおいて、当法人の定期総会が開催されました。その余韻に浸りながら、この原稿を書いています。コロナ、ウクライナ侵攻、物価の上昇など混沌とした世の中ではありますが、お陰様で令和3年度の事業は堅調に推移し、わずかではありますが、利益を確保することができました。事務局長はじめ、全職員の日ごろのひたむきな努力に対し、心から感謝したいと思います。

人間には3つの欲求があるそうです。一つ目は「生存欲求」。安心・安全に生きていきたいという欲求であり、社会人の場合、給料や雇用環境が影響します。二つ目が「関係欲求」。良好な人間関係を築き、人から認められたいという欲求です。そして、三つ目は「成長欲求」。苦手を克服し、得意分野を伸ばし、自らの可能性や才能を発揮していきたいという欲求です。人材を育成するためにはこの3つの欲求を満たしてあげることが大切だと言われています。

3つの欲求の中で、何を重視するかというのは人それぞれの価値観で違ってきます。給料が高くて人間関係がうまく行かず、離職率が高い職場もありますし、逆に給料がそこそこでも職場の雰囲気明るくて、定着率が高く、優秀な人材が育っている職場もあります。

当法人の場合、現状においては、残念ながら待遇面も休日も満足度は決して高くはないと認識しています。しかし、職場の雰囲気や人間関係、仕事のやりがいや社会的使命感においては、その満足度は高いと自負しています。今後も待遇面、雇用環境面での改善の努力を続けながら、職員一人一人の個性を尊重しつつ、そのモチベーションを維持していけるような配慮を続けていかなければならないと心に誓った一日でありました。

令和4年度 環境ネットやまがた通常総会を開催しました！

令和4年5月28日(土)13:30から、山形エコハウスにおいて、令和4年度通常総会を開催しました。今年度も、新型コロナウイルス感染防止対策のため、通常総会のみで開催とし、総会後の活動報告会並びに懇親会は、開催を見送らせていただきました。総会は、河合代表の挨拶の後、河合代表が議長となり議事に入り、議事は、第1号議案から第4号議案まで、全て満場一致で議決成立し、お陰様で無事に終えることができました。

令和3年度もコロナ禍の中、試行錯誤しながらの活動でしたが、皆様からご協力いただき無事に各事業を終えることができました。

令和4年度も精一杯取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



～会報誌作成にあたって～

「第26号」の会報誌は、各担当が「令和3年度の活動報告と令和4年度の活動計画」をまとめました。通常総会後に開催していた「職員による活動報告会」を今年度も新型コロナウイルス感染防止のために開催できなかったため、それに代えて各自が担当した事業について原稿を作成しました。

お読みいただければ幸いです。

令和4年度も普及セミナーを開催予定ですので、決まり次第ご案内します。

「気候変動適応策」と「V2H」普及セミナーの開催

令和3年度、やまがた社会貢献基金事業(団体支援助成金、山形日産グループ助成)を活用し、V2Hの活用による災害時の電気自動車の新たな活用方法を提案するセミナーの開催や使い方の手順書作成を行いました。

災害などによる長時間の停電でも電気を使用できるようにするため、電気自動車の新たな活用方法に注目が集まっています。一般的な電気自動車は、家の方から電気をもらって充電しますが、逆に、車から家に電気を送ることはできません。しかしながら、「V2H(Vehicle to Home)」の設備を導入すると、「電気自動車(EV)に蓄えた電気を家庭で利用する」ことが可能になります。また、その電気を太陽光発電で生み出せば、地球にやさしいクリーンな電気となり、ゼロカーボン社会の実現にも繋がります。

日程：令和3年9月2日(木)

場所：山形市西部公民館 3階集会室 (山形市)

参加者：午前42名、午後27名

内容：講演「地域における気候変動対策～緩和と適応～」

講師 環境省東北地方環境事務所

講演「電気自動車とV2Hの活用」 講師 日産自動車株式会社



クールチョイスを広めよう！

令和3年度も山形市では、環境省の補助金を受け、「山形まるごと COOL CHOICE 事業」を実施しました。環境ネットやまがたは、その一部を委託事業として受託し、「イベントでの啓発活動」や「講演会の開催」、「省エネ住宅普及活動」等を実施しました。

また、大学生や高校生と連携し、「COOL CHOICE を広めよう」として、テーマごとに実践してほしい COOL CHOICE を考え、動画を作成しました。

動画は、山形市の YouTube で公開していますので、ぜひご覧ください。



脱炭素経営セミナー in やまがた

2050年のカーボンニュートラル社会の実現のためには、大企業のみならず、地域の中小企業の取組が重要です。令和3年度、環境省、環境省東北地方環境事務所、山形県との共催で、地域の中小企業経営者や環境担当者等を対象として、脱炭素経営促進についてのセミナー及び相談会を開催し、延べ150名を超える方々にご参加いただきました。

令和4年度もセミナーを開催しますので、ぜひご参加ください。



山形県が「カーボンニュートルやまがたアクションプラン」を策定

山形県では、2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンやまがた 2050」を宣言しました。また、令和4年2月にカーボンニュートラルの実現のため、2021(令和3)年度から2025(令和7)年度までの5年間において県民・事業者等が行うべき取組を「カーボンニュートルやまがたアクションプラン」としてまとめました。

アクションプランの詳細は、山形県のホームページをご覧ください。

○省エネ家電買換えキャンペーン(実施中)

山形県では、山形県内にお住まいで、期間内に統一省エネラベル3つ星以上の冷蔵庫やエアコン等の対象家電に買換えた方(個人の方)に、「県産米はえぬきキューブ米」(2合分)を進呈(なくなり次第終了)。さらに必要書類を添えて応募いただくと、抽選で100名様に県産品カタログギフトをプレゼント！！

詳細は山形県のホームページで確認を。

市町村が住民向けにカーボンニュートラルセミナーを開催

令和3年度、県と市町村が連携して市町村住民のカーボンニュートラルへの理解や行動の促進を図ることを目的として実施するセミナーについて、内容の企画立案や講師派遣、当日の開催補助を行う支援事業を山形県委託事業として行いました。令和3年度には、県内6市町で開催されました。

令和4年度も本事業を開催しますので、県内市町村の皆様、ぜひ開催ください。



尾花沢市:10月26日、40名参加



東根市:11月21日、150名参加



米沢市:12月4日、73名参加



川西町:12月11日、40名参加



上山市:1月21日、80名参加



山辺町:3月5日、24名参加

令和4年度事業

「山形県学生環境ボランティア」事業

山形県委託事業として、県内大学等の学生を対象に、2050年カーボンニュートラル社会の実現に向け活動を行う「学生環境ボランティア」を募集しました。今回、27名の応募があり、6月11日にキックオフミーティングを行いました。これから、普及啓発の担い手として、一緒に県内各地で普及啓発活動を実施します。

「省エネ住宅」の普及セミナー、研修会の開催

カーボンニュートラル社会の実現のため、住宅の省エネ対策の普及が重要です。私たちは、平成19年度より学識経験者や建築関係団体、山形県などと連携し、消費者や技術者(設計、施工)向けに省エネ住宅の普及活動を行ってきました。これからも各団体等と連携し、継続的な活動を実施する予定です。

また、令和4年度、新たに、山形県が県民向けの省エネ住宅普及セミナー・見学会、技術者向けの研修会・見学会を実施する事業を公募し、審査の結果、当法人が受託することになりました。

省エネ住宅の益々の普及のため、現在準備中です。詳細が決まりましたら、ご案内します。

「地域プラットフォーム構築事業」省エネお助け隊

事業所の省エネはおまかせ!

本事業は、平成27年度に策定された長期エネルギー需給見通し(エネルギーミックス)における2030年度の省エネ目標を達成するため国が始めた、地域の中小企業等に対するエネルギー利用最適化の推進事業です。当法人は、国から事業を請け負った(一社)環境共創イニシアチブの公募に応募し、山形県をエリアとして活動することとなりました。

具体的には、どの様に省エネルギーに取組めばよいかを悩んでいる中小企業等に専門家を派遣し、省エネ診断やその結果をもとにきめ細かな支援を行い省エネルギーにつなげる事業です。省エネ診断では実際に事業所を見て、改善提案を立案します。改善提案には、資金を必要としない運用改善と設備投資による改善があります。プロの目で診断することにより、無駄を見つけ改善することができ、省エネだけでなく経費の削減にも繋がります。

これまで毎年20社程度の支援を行っていますが、令和3年度は事業所が1割負担になったことと、見積書や契約書の作成など、不慣れな業務が増加したこともあり8社の支援に止まりました。令和4年度は、15社を目標に掲げて頑張りたいと思っています。

皆様の事業所やお知り合いで、省エネを考えている事業所がございましたら、環境ネットやまがたにご紹介ください。

みら

やまがた未来くるエネルギー補助金(山形県再生可能エネルギー等設備導入促進事業)

令和3年度までは上記()内のお堅い事業の名称でしたが、令和4年度から標記の名称に変更になりました。県の委託事業として今年で5年目になります。事業内容としては、申請の受付及び申請書の確認、申請に係る相談、県への報告、交付決定通知や補助金額決定通知書の送付、現地調査と調査報告書の作成、再生可能エネルギー設備の普及啓発などになります。

補助対象になる設備は、蓄電池設備(蓄電池とソーラーパネル両方を設置(創エネ型)と既存のソーラーパネルに新たに蓄電池を設置する(地産地消型))、木質バイオマス燃焼機器(ストーブ、ボイラー機能付きストーブ、ボイラー)、太陽熱利用装置、地中熱利用装置(空調装置、融雪装置)、V2H設備になります。昨年と変わったのは、創エネ型蓄電設備が先着順から事前受付に変更になりました。7月末までに受付を行い、予算を超えた応募の場合は抽選になります。また、木質バイオマス燃焼機器についても「ボイラー機能付きストーブ」が補助対象に追加になっています。

昨年度は約570件の受付があり、そのうち約540件の現地調査を実施しました。

特に創エネ型の申請が多くあり、補正予算により追加募集になったほどです。持続可能な世界の構築には再生可能エネルギーの導入が不可欠ですので、皆様の申請をお待ちしています。



エコアクション21事業について

東北の中核事務局です！

■令和3年度 事業報告

①認証・登録事業所数

全国の認証・登録事業所数(令和4年5月末現在)…7,436件

環境ネットやまがた認証・登録事業所数(令和4年5月末現在)…343件

② 審査員力量向上研修会、認証登録事業者向けのフォローアップセミナー(青森県、山形県)の開催、アドバイザー派遣、毎月第三金曜日に個別相談会を実施しました。

③ 新規事業者向けの説明会の開催、EA21についてのパネル展示等を行ないました。

④アクションプランについて、地方自治体、地球温暖化防止活動推進センター等を訪問して説明を行い、協力を求めました。

令和3年度も一昨年度同様、新型コロナウイルスの影響を受けた1年でしたが、アクションプランに基づく広報活動に力を入れることが出来、認証登録事業所のサポート等も行なえた1年だったと思います。

令和4年度も昨年度以上に普及・広報事業に力を入れ、エコアクション21の拡大に努めて参ります。

■令和4年度 事業計画

① 審査員力量向上研修会を開催予定です。

② グリーン化プログラム・自治体イニシアティブ・プログラムにより認証取得拡大を図ります。

③ 県、温暖化防止活動推進センター等と連携し、環境マネジメントシステム普及推進セミナーを開催します。(東北6県での開催を予定)

④ 認証取得事業所を対象としたフォローアップセミナーを開催します。

⑤ 個別相談会の開催、アドバイザー派遣を行ないます。



認証継続10年を迎えた事業所様(山形会場)

令和3年度活動写真



SDGs実践セミナー



地球温暖化防止活動推進員
フォローアップ研修



新庄雪まつりでの啓発活動



脱炭素推進セミナー

令和3年度山形県環境保全協議会の活動について

令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、「カーボンニュートラル講演会(12/22)」の開催や、視察研修会(11/30)、金峯山森林整備活動(10/10)、酒田港大浜海岸クリーンアップ運動(10/30)を開催しました。

令和4年度についても新型コロナウイルス感染症対策を取りながら引き続き事業を実施していきます。



カーボンニュートラル講演会



視察研修会



金峯山森林整備活動



クリーンアップ運動

「令和4年度山形県環境保全協議会通常総会」を開催しました！

令和4年5月31日(火)13時からパレスグランデールを会場に、「令和4年度山形県環境保全協議会通常総会」を開催しました。令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため書面表決での開催となり、会場での開催は3年ぶりになります。総会では、ご来賓の安孫子環境エネルギー部長様からご祝辞を賜りました。議事では、満場一致で議決成立し、無事に終わることができました。その後、14時から県事業「カーボンニュートラルやまがた県民運動推進大会」の席上で、当協議会事業「令和4年度山形県環境保全推進賞」表彰式と、「記念講演会」を開催しました。



約60名の会員企業が参加



安孫子環境エネルギー部長様のご挨拶



議長 千歳会長

「令和4年度山形県環境保全推進賞」受賞企業が決定しました！

「令和4年度山形県環境保全推進賞」の表彰式については「カーボンニュートラルやまがた県民運動推進大会」の席上で開催されました。大会には、吉村知事からご出席を賜り、また沢山の方からご出席いただきました。なお、受賞企業様は以下のとおりです。

＜令和4年度山形県環境保全推進賞受賞企業＞

山形県知事賞：株式会社メカニック(酒田市)

山形日産グループ(山形市)

環境保全推進賞：ミドリオートレザー株式会社(山形市)

山形県電機商業組合(山形市)

選考委員特別賞：株式会社小島洋酒店(米沢市)



吉村知事と受賞者



講師 江守正多氏

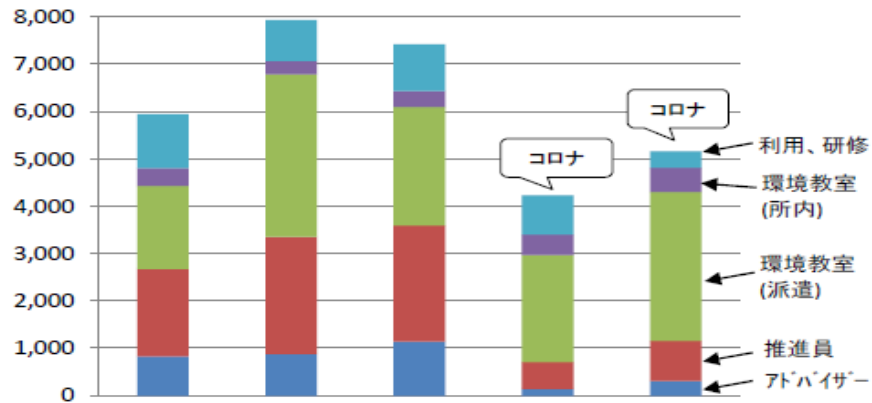
江守正多先生からご講演をいただきました！

記念講演会では、江守正多様(東京大学未来ビジョン研究センター教授、国立環境研究所地球システム領域上級主席研究員)から「気候危機のリスクと社会の大転換～2050年カーボンニュートラルの実現に向けて～」と題してご講演いただきました。

山形県環境科学研究センターでの活動について

山形県環境科学研究センター情報棟の管理運営を行うとともに、環境学習や教育の支援、再生可能エネルギー施設の案内、情報の収集・発信、相談対応等を実施しました。

令和3年度環境学習施設利用者数(実績)



単位：人		H29	H30	R01	R02	R03
派遣	アドバイザー派遣	833	875	1,142	142	311
	推進員派遣	1,841	2,483	2,454	570	846
	環境教室(派遣)	1,758	3,426	2,504	2,259	3,147
来館者数	環境教室(所内)	378	283	339	428	508
	利用、見学、研修	1,139	865	982	829	348
計		5,949	7,932	7,421	4,228	5,160

参加人数の合計人数です。

コロナ感染の収束が見えない中、将来への足掛かりをつくるという目的で、「小学校向け環境教室」を増やすことにチャレンジしてみました。社会科施設見学に代えての「出前講座」、三密対策した上での「センター来館による体験型校外学習」等を積極的にPRし実施しました。小学校向け件数が増えたので、「環境教室(派遣)」「環境教室(所内)」実績が前年より拡大しました。

環境教室の風景

2021.10.22 東根市の小学校 4年生が来館「体験型校外学習」



社会「水はどこから」のふりかえり、実験あり



廃ろうそくを使ったエコキャンドルづくり

2021.10.23 村山市の小学校でオンライン学年行事を開催しました。エアカーリングです。



【令和4年度活動計画】

1. テーマの選定
「環境教育普及促進」事業が毎年継続的に発展すること！
2. 目標の設定
「環境学習施設利用者数」実績が毎年前年度実績を上回ること！
目標値：5,200人/年（チャレンジ目標値：8,000人/年）
3. 達成手段
 - 3-1. 小学校向け環境教室件数を増やす。
 - ① 体験型校外学習(来館)の件数を増やす。
 - ・e-mailによる県内全小学校への案内
 - ・小中学校教育研究会研修会でのPR
 - ・カン・カン・カン♪環強教室の案内を併用
 - ② 環境教室のメニューを増やす。
 - ・アドバイザー派遣新メニューの考案～コーディネート
 - 3-2. 教育委員会・公民館・コミセン向けと放課後児童クラブ向け件数の維持
 - ① リサイクル工作・木工クラフトの新メニュー開発
 - ② 口コミ営業展開の継続

山形県環境科学研究センター
公式 YouTube チャンネル

見てね～。



山形県産業科学館の活動

● 未来の目標・SDGs のパネル展 「かるたでよみとく わたしと世界のつながり」

4月27日(水)から5月31日(火)まで、「かるたでよみとく わたしと世界のつながり」展を開催しました。「わたしと世界のつながり かるた」をつかって、SDGs を身近に感じてもらおうというものです。準備しているワークシートを持ちかえって、ライフサイクルのサイコロをつくってみよう！ つくったらサイコロをころがして、？マークの問いに答えて、家族で遊んでみよう！ など、さらに SDGs の実践が身近なこととして感じられるでしょう♪



「ライフサイクル」



「わたしと世界のつながり かるた」

● 未来の目標・SDGs 「育てよう SDGs の木」

未来の目標・SDGs シリーズの第二弾は「育てよう SDGs の木」。皆さんの「これをやろう」という実践を書いた付箋で、SDGs の木を育てようという企画です。併せて、NHK 放送局制作の SDGs の動画を見たり、本を見たりして SDGs に興味をもち、できることを実践するきっかけになるように願っております。



「育てよう SDGs の木」

<開館時間等>

山形県産業科学館

開館時間 10:00~18:00

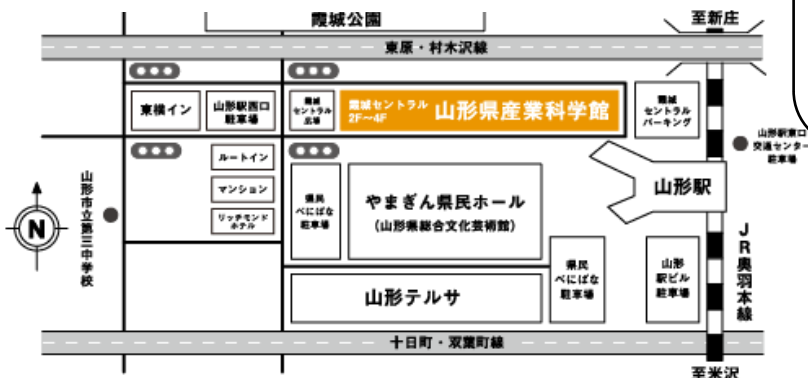
休館日 毎週月曜日(月曜祝日の場合はよく平日)

12月29日~1月3日(年末年始)

住所 山形市城南町一丁目1-1

みんな遊びにきてね。

山形県産業科学館のホームページでは、各展示の案内やイベント情報などを掲載しています。また、公式 YouTube やインスタグラムでは、工作の紹介や館長おすすめの本の紹介などを行っています。ぜひ、ご覧ください。



★リレー企画「会員から一言」★ No.3 鈴木伸二さん（鶴岡市在住）

今年の4月から金峰少年自然の家の指定管理者に指導員としてお世話になっています。金峰少年自然の家は私にとってプロジェクト・ワイルドなど環境学習に取り組むきっかけ、原点となったところです。

地元小学校で環境出前講座をさせていただく機会がありますが、ここ数年は小学校でもSDGsについても話をしたいとの相談を受けることが多くなってきているように思えます。私の方からは難しい話はおいておいて「誰一人取り残さない」が大事。皆さんが環境への取り組みをしていることはSDGs、17ゴールのどれかに繋がっています。今の取り組みを継続する。できることを増やしていく。一緒に取り組んでくれる仲間を増やすようにしていきましょう。そして仲間を誰一人取り残さず笑顔で取り組んでください。」との話をさせていただいています。子供たちから家庭、学校、地域、…と環境の環・輪・和が広がると良いですね。



★スタッフ紹介★ それぞれの活動場所ごとに一言コメントなど。

<山形エコハウス>



(大場事務局長)
SDGsを採択しながら、なぜウクライナ問題を解決できないのでしょうか？それで気候変動問題が解決できるのでしょうか？今、本気度が試されているように思えます。



(長岡事務局次長)
本年度はPF事業と再エネ事業の担当になります。老骨に鞭打って頑張りますので、よろしくお願いたします。



(河合主任)
育休から復帰しなんとか1年が経過しました。毎朝、駐車場から事務所まで走らないと間に合わず…この一年間で確実に走るのが速くなりました！！



(二藤部主任)
年々事業の数だけが増えているような気がします…



(菊地)
今年は平均的な暑さと平均的な寒さがいなと思う今日この頃です。



(村山)
阿部さんの引継事項緑のカーテンと野菜畑に苗を植栽しました。新米村山です。仕事も食味もトリプルAを目指します。

<山形県環境科学研究センター 情報棟>

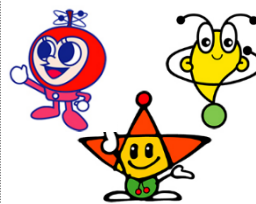


(安藤主任)
これからも環境学習の普及促進頑張ります。



(吉田)
段々と暑くなってきました。体調管理に気をつけたいと思います。

<山形県産業科学館>



宮野館長のもと、太田庶務主任、佐藤技術主任、金澤業務主任、合計11名で頑張っています。

入会のご案内

- 正会員：入会金 5 千円、年会費 5 千円
- パートナー会員：年会費 3 千円
- 賛助会員：一口 1 万円で一口以上何口でも可
本 NPO へ入会をご希望の方は事務局までご連絡ください。

♪編集後記♪

各事業の内容はいかがでしたでしょうか。令和4年度も様々な情報をお伝えできればと思います。いつものとおり、カラー版をホームページに掲載しますので、ぜひご覧ください。また、これから暑くなる季節ですので、水分・塩分補給を忘れずに、熱中症にお気を付けください。環境省のホームページでは「暑さ指数」も公開されています。

★メルマガ・フェイスブック開設しています★

環境ネットやまがたでは、メルマガ（月 1 回配信）やフェイスブックでイベントなどの情報を配信しています。メルマガ購読希望の方は以下のアドレスまでご連絡ください。

Email eny@chive.ocn.ne.jp

また、フェイスブックなどではイベント会場などからアップしています。ぜひ、「いいね」をお願いします♪



フェイスブック



インスタグラム

